

事業者名	株式会社日比谷アメニス		
本社所在地	東京都港区南麻布3-20-1 Daiwa麻布テラス4階		
業種	造園建設業		
事業概要	公園・緑地等の施工管理、屋上・壁面・室内などの特殊環境緑化、公園・緑地等のメンテナンス、公園・スポーツ施設等における管理運営、バイオマス利活用に関する事業 等		
事業活動エリア	全国		
企業URL	https://www.amenis.biz/		
地方公共団体との マッチングを望む 分野	高 ← 優先度 → 低 1木質バイオマス発電・熱利用 4ZEB・ZEH・建築物の省エネ 2森林管理・活用・生物多様性 5その他 3資源循環 その他 熱中症対策		
地域づくりに貢献する 「地域脱炭素」を通じて 実現したい社会像	公園緑地や森林から出る木質資源を無駄にせず、従来の「堆肥」や「マルチング材」としての活用に加え、水分管理による「高品質燃料化」や、バイオ炭による「土壌改良・炭素貯留」といった、より付加価値の高い新たな活用選択肢を広げます。これにより、地域資源の特性や需要に合わせて、その価値を最大化しながら余すことなく使い切る持続可能なまちづくりに貢献します。		
地方公共団体の脱炭素の 目標や課題に対して 提供可能な ソリューション	①木質燃料の低環境負荷乾燥技術【エネルギー利用・マテリアル利用】 発酵熱や太陽熱、工場等の未利用熱といった環境負荷の低い熱源を活用した、木質チップの乾燥技術をご提供します。チップを最適に乾燥させることで発熱量と燃焼効率が向上するため、燃料消費量を抑え、地域内木質資源のより効率的かつ低コストなエネルギー運用（熱利用）を実現します。 ②植栽基盤用バイオ炭の土壌施用の取組みと高効率バッチ式炭化炉【マテリアル利用】 木質資源を炭化してバイオ炭を製造し、公園や街路樹等の植栽基盤や地域の農地へ施用することで、保水性や透水性、化学性の改善といった土壌改良を図ります。同時に、大気中のCO2を土中に貯留（CDR）し、温室効果ガス削減に貢献します。当社では、緑地分野における取組のご紹介やノウハウの提供と共に、高効率で小規模から実施できる炭化炉「未来ロケットカーボナイザー」を紹介いたします。 ③地球温暖化に適応した熱中症対策 近年の夏場の厳しい暑さや、全館空調の導入が難しく熱がこもりやすい公共施設（体育館や作業スペース等）において、熱中症対策に貢献する移動式エアコンをご紹介します。高額な設備工事費をかけずに、必要なスペースだけをピンポイントで効率的に冷やすことができるため、導入コストと電気代を削減できます。また、移動が簡単なので、平時のイベント利用から、災害時における避難所での熱中症対策まで多用途に活躍します。		
地方公共団体との 連携実績	東京都立公園において剪定枝のエネルギー活用に取り組みました。剪定枝由来の木質チップを太陽熱を用いて乾燥させ、チップボイラで燃焼させることで、スポーツセンターの暖房及び給湯の熱源としており、約8割の化石燃料代替を実現しました。この取組を実施するにあたり、東京都港湾局と社会実験としての協定書を結びました。参考： https://www.mlif.go.jp/toshi/park/content/001496959.pdf （No.6）		